

万亭應賀作



倭文庫四拾編

非禮曲五國也

上

~ 13
3785
83



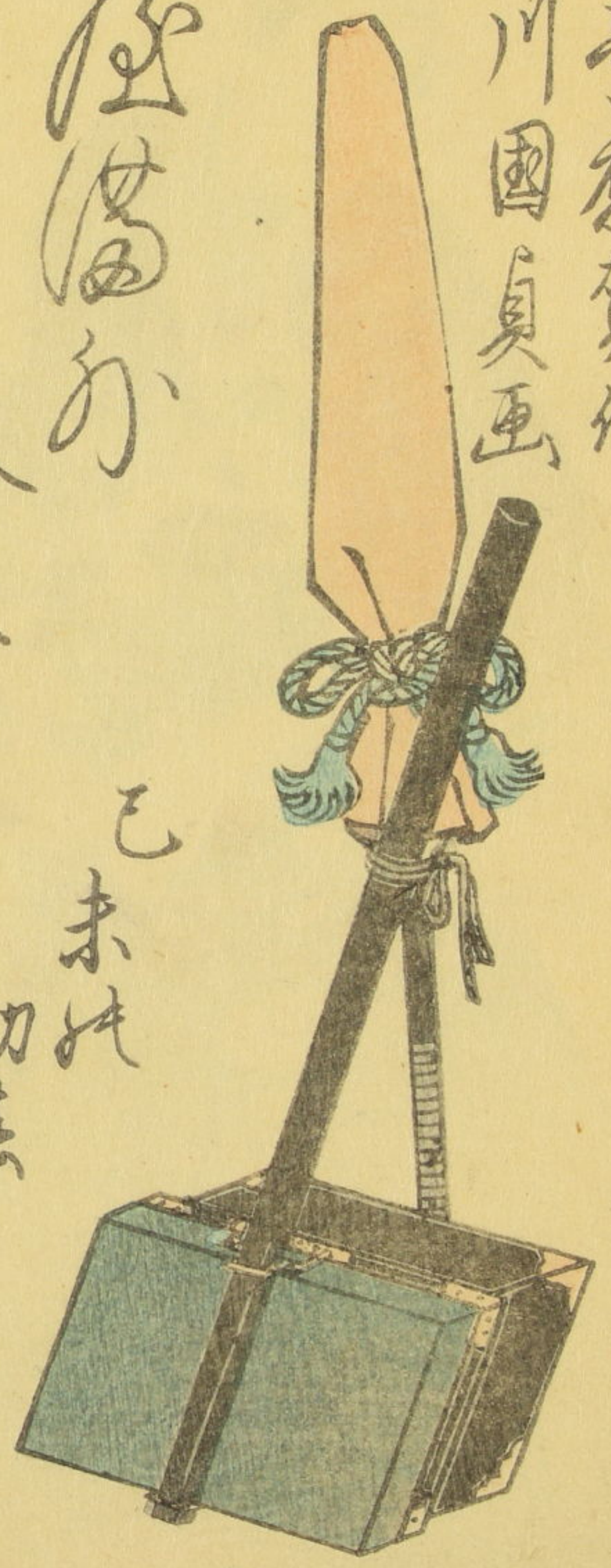
門へ13
3785
巻83

万亭應賀作
川國貞画

屋海か

文庫

己未
初去



四指二編

ふくま

錦重堂

表楼

釋迦八相倭文庫四拾二編序

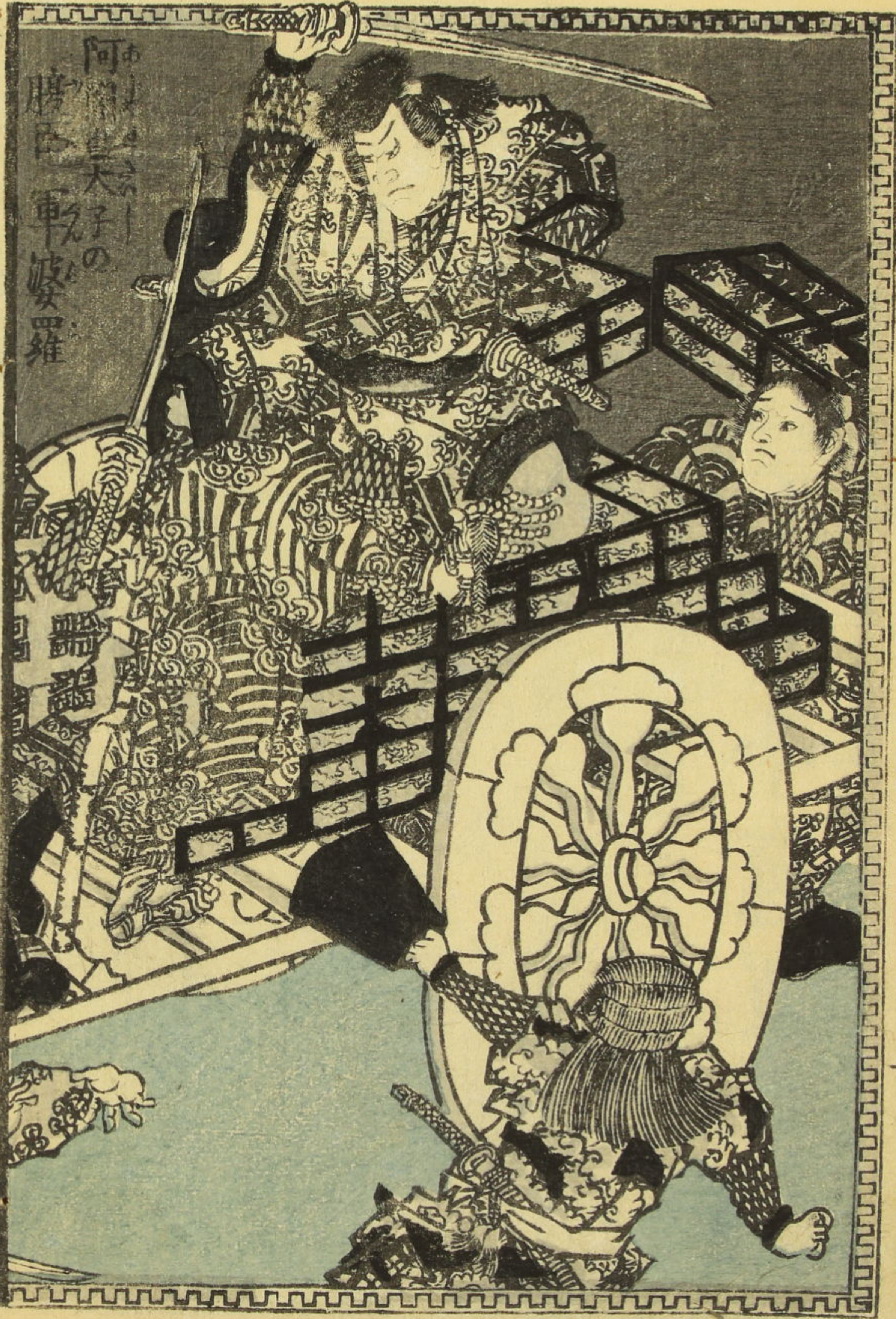
夫天竺の瓦及至の日満中の中無景天の五行の土徳中七色の即是黄
教の五十四の尺とま本朝崎陽より摩伽陀國を流沙の川星
て凡そ千七百と云々尚川上を行てヨリヒサラと云々城あり此場の
日本の空海と文珠と法談の所とありさて靈就鳥山ハタイカイの都
より四十二里流沙の川上あり三月より四月まで市を立るを
日市と云々是の世尊の滅期より始まるものなり
後をのりて前引揚前をのりて後小條下る少利根の得手
勝色を負乏人の曾種次舊家の雜作を異るを揚下あり
骨を折るを陳謝と誌するが二十枚の紙の辨らま註譯の
を、終るを唯何事も大槩に沙推察あると云

安政六己未歲
孟春新梓發行

万亭應賀述



倭文庫四十二



座禪石

靈鷲山より四十二里流沙川の
上あり其座の高さ三十二町
流沙川の水上不覆時て
甚奇石なりと云ふ

釋迦牟尼世尊



天竺の数目

- 一ト云 二ト云 三ト云
- 四ト云 五ト云 六ト云
- 七ト云 八ト云 九ト云
- 十ト云 百ト云 万ト云



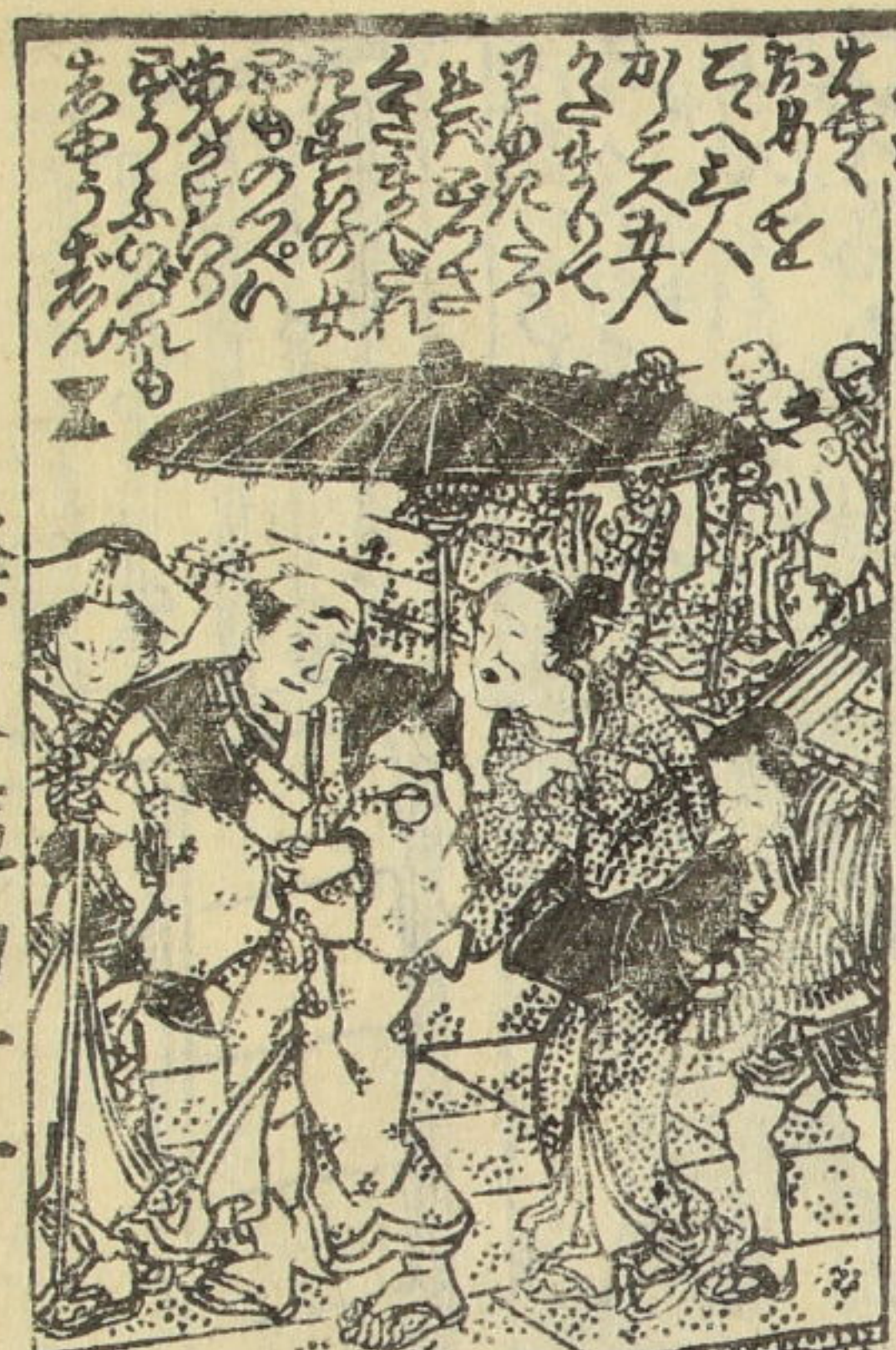
天竺の数目
一ト云 二ト云 三ト云
四ト云 五ト云 六ト云
七ト云 八ト云 九ト云
十ト云 百ト云 万ト云

印度の名産

珊瑚珠 奇楠 沉香 狼牙羅 椰子

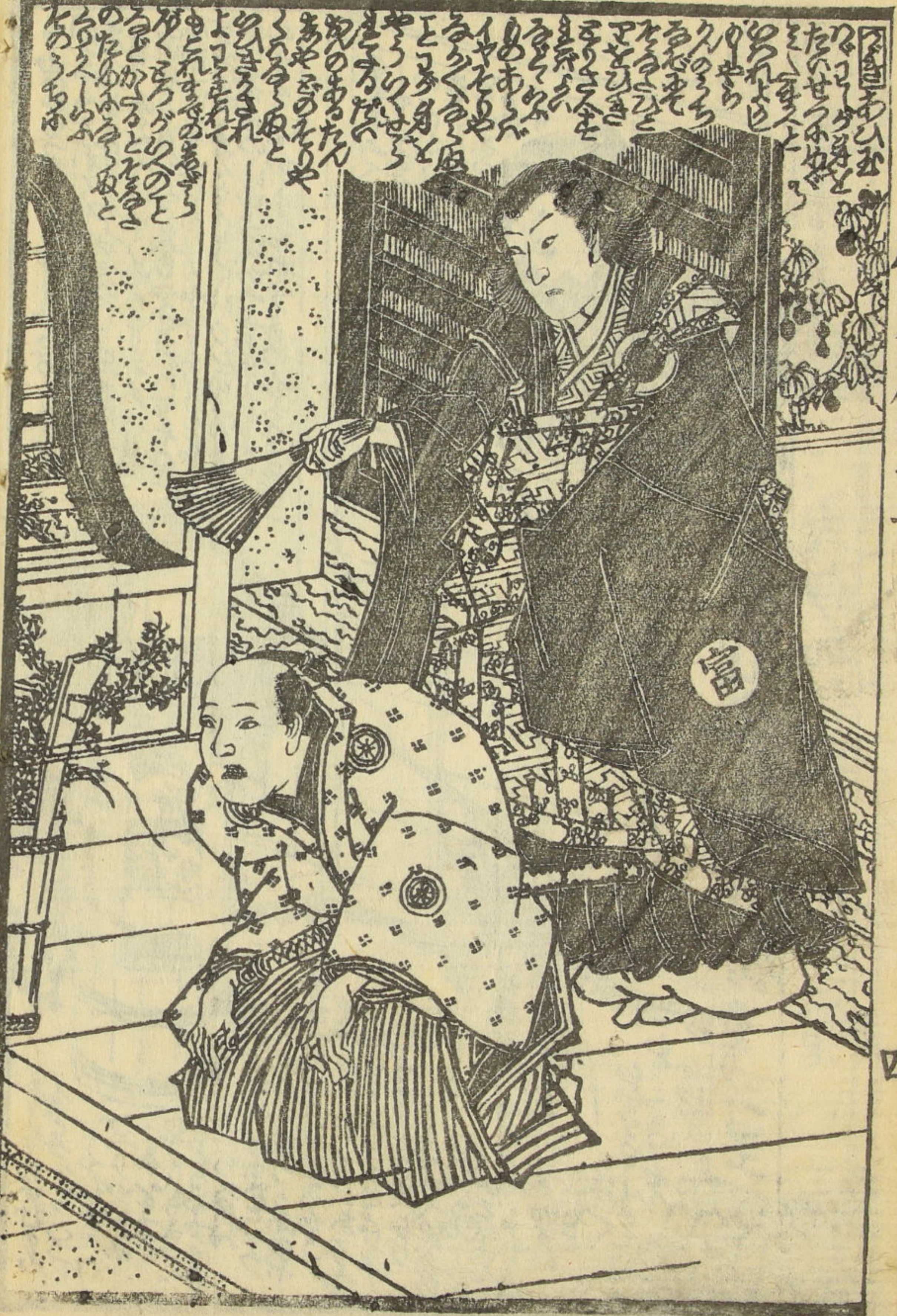
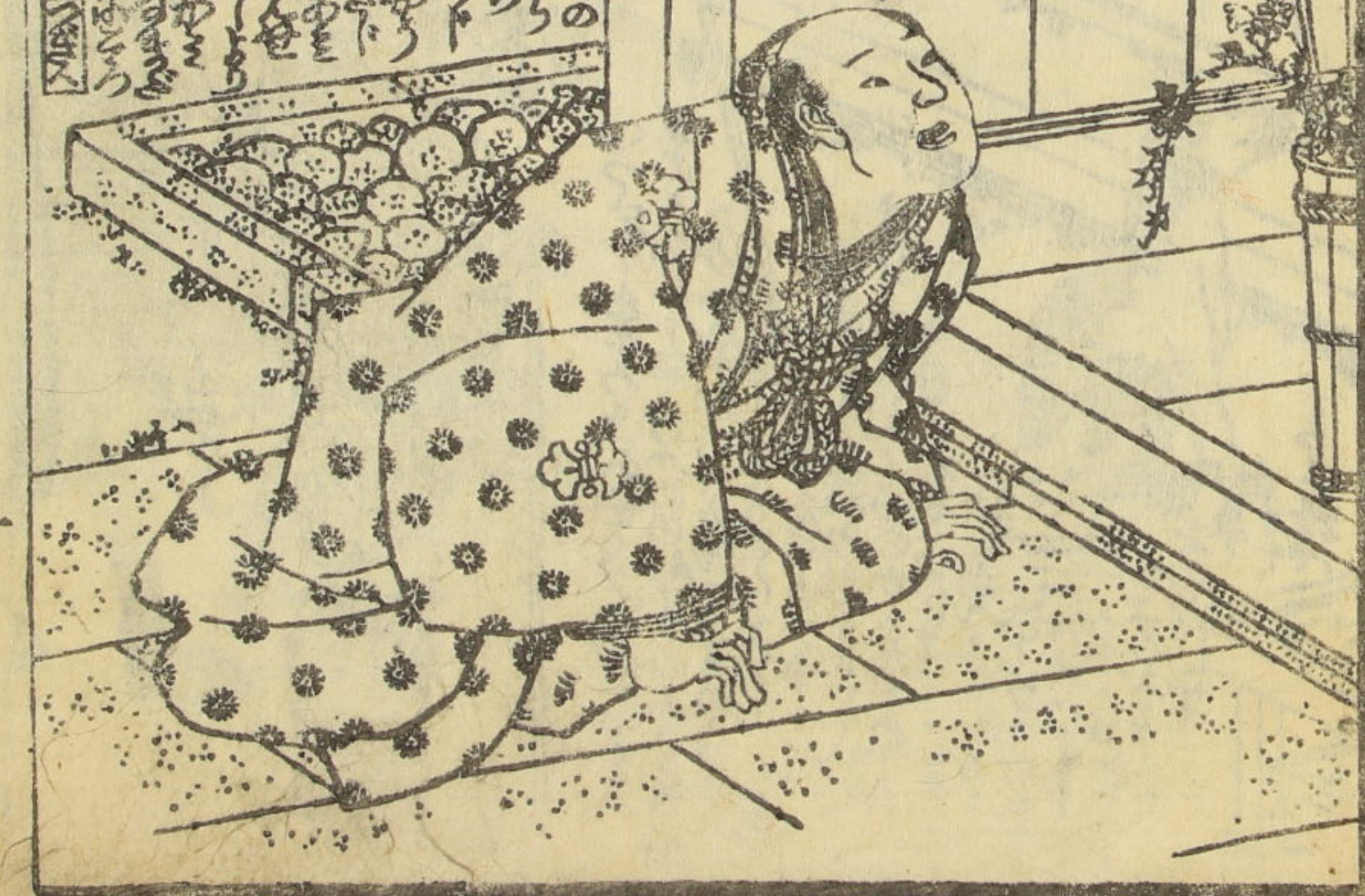
鯉魚 鱸魚

鯉魚 鱸魚
奇楠 沉香
狼牙羅
椰子
珊瑚珠



あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの



あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの



安政六年己未春新板目錄

倭文庫	四十編 四十一編 万亭應賀作
重の井菱染別小紋	八編 永春水 作画
昔語小栗實説	二編 三編 同 松亭金水 作画
花山吹百人女郎	二編 初編 同 柳亭種彦 作画
大寶御江戸圖	極上摺 奉書六枚半續
常磐津懷中本	三編 初編 二編 小本 作画
重繪州紙本類	上州屋重藏

倭文庫



應賀作國貞画

